

基盤整備委員会

の関わりはどうか。
【答】基本的には2社の意向を聞き進めていく。それぞれの業務の中で連携できるところは図っていきたい。

平成23年度 高山市学校給食費特別会計予算については、特段の質疑もなく全員一致で原案の通り可決するものと決めました。

平成23年度 高山市観光施設事業特別会計予算については、全員一致で原案の通り可決するものと決めました。

【問】一般会計繰入金2200万円の充当支出はなにか。
【答】工事請負金1500万円、一般管理費700万円である。

ている。

【問】市営住宅への東日本大震災の避難者の受け入れ状況は。
【答】現在27世帯81人(3月25日現在)を受け入れている。

【問】今後の見通しは。
【答】これからもあると思うので可能な限り対応していきたい。

【問】歩車共存型道路整備は提言を受けて評価したいと考えるが計画は見直したのか。他

【問】市営住宅の新築や改築予定は。
【答】具体的な新築や改築の予定はない。方針も決めていない。ただし、市営住宅片野第1団地が老朽化しており、対応が必要と考え

の計画との整合性はどうか。
【答】既存のバリアフリー事業はそのまま進め、支所については並行して進めていく。

【問】橋梁耐震長寿命化計画は完成しているのか。
【答】コンサルの履行期間が今年度までである。今年度中に作成したい。

【問】ごみの無料処理券に個人の番号が入っているようだが個人情報との関係から問題ないか。
【答】整理番号として入れている。個人情報保護の面から担当部局と協議し、問題ないと確認した上で番号を入れている。

平成23年度 高山市下水道事業特別会計予算については、全員一致で原案の通り可決するものと決めました。

【問】生活困窮者への対応はできているのか、厳しい立場の人も

いる。今後検討してほしい。どこまでが困窮者かの判断は難しいが認定の調査研究をすべきではないか。
【答】分納などの方法でお願いをしている。現場を回って実態を把握し、徴収率の向上に努める。

平成23年度 高山市簡易水道事業特別会計予算については、全員一致で原案の通り可決するものと決めました。

【問】指定管理者への行政側のチェック方法は。
【答】支所に技術管理者がおり、毎月点検結果をチェックしている。水質は本庁一括で点検している。

【問】飲用なので、なれ合いにならないよう常に改善をして安全安心を心がけてほしい。
【答】安全安心は当然。水道法に基づいた検査を実施し、毎月告示している。

平成23年度 高山市農業集落排水事業特別会計予算については、全員一致で原案の通り可決するものと決めました。

【問】クリーン農業を進めるため、生活排水を下水につなぐよう行政が進めていく必要がある。農産物のブランドを守っていくことも大切ではないか。
【答】その通りだ。生活排水、風呂、洗濯などで川を汚すことのないよう前向きに検討していきたい。

平成23年度 高山市水道事業会計予算については、全員一致で原案の通り可決するものと決めました。

【問】未給水地区解消工事にいくら充てるのか、場所はどこか。
【答】1000万円を計上している。地区は特定していない。

【問】錦山配水池の再編はどういった内容か。

【答】当該地区の使用水量が増加し、錦山配水池への負担が多いため、江名子の上流に配水池を設け負担を軽減する。

【問】地震による管の破損が考えられるが、早急な工事方法はあるか。
【答】延命化を図るため、継ぎ手部分の内部を樹脂被覆とする工法などがある。

【問】石浦の未給水は解消されるのか。負担金はどうか。
【答】石浦と一之宮の境に設置し、未給水は解消される。現在は水圧不足。ポンプで送る必要がある。新施設は自然圧でカバーできれば安くなる。



高山市営住宅(片野第1団地)